

京都大学教育研究振興財団助成事業
成果報告書

2024年 7月 9日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 藤 洋作 様

所属部局・研究科 医学研究科腫瘍生物学講座

職名・学年 特定研究員

氏名 奥田 瑠璃花

助成の種類	令和6年度 ・ 国際研究集会発表助成			
研究集会名	EHA 2024 Hybrid Congress			
発表形式	<input type="checkbox"/> 招待 ・ <input type="checkbox"/> 口頭 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター ・ <input type="checkbox"/> その他()			
発表題目	Pathogenesis of Myeloid Neoplasms with der(1;7)(q10;p10)			
開催場所	Madrid, Spain			
渡航期間	2024年 6月 12日 ～ 2024年 6月 18日			
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有()			
会計報告	交付を受けた助成金額	350,000 円		
	使用した助成金額	350,000 円		
	返納すべき助成金額	0 円		
	助成金の使途内訳	費目	金額(円)	
		航空運賃	199,120	
		宿泊費	66,000	
		滞在費	0	
		学会参加費	124,703	
その他		26,280		
	以上に助成金を充当			
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。)			

成果の概要

京都大学医学研究科腫瘍生物学講座

特定研究員 奥田 瑠璃花

参加学会 ヨーロッパ血液学会 2024

この度は国際研究集会発表助成にてご支援いただき、ありがたく存じ上げます。

参加のご支援をいただいたヨーロッパ血液学会学術集会は血液学会の中でも2番目に大きな集会で、各国から血液疾患のスペシャリストが集結する学会です。今年度はスペインのマドリッドでの開催となりました。

今回の発表のタイトルは、“Pathogenesis of Myeloid Neoplasms with der(1;7)(q10;p10)”で、ポスターでの発表となりました。研究概要は、骨髄異形成症候群（MDS）や関連疾患患者に高頻度で認められる不均衡転座、der(1;7)(q10;p10)を有する症例の遺伝学的・臨床的プロファイルを明らかにすることでした。この不均衡転座は7番染色体長腕の欠損と1番染色体長腕の増幅が特徴的であり、既報では、コピー数が類似している、monosomy7やdel(7q)と7番染色体長腕が欠損している群との比較が行われていますが、いまだにder(1;7)(q10;p10)の特徴が解明されていません。我々の研究では、monosomy7やdel(7q)との比較に加え、1番染色体が増幅している、+1qという群との比較を行い、これらの研究結果を報告しました。

ポスター会場では、我々の研究で高頻度で報告した遺伝子変異、ETNK1に着眼した別の研究がありましたが、かなり低頻度での報告であり、我々とは異なった見解を示しており、興味深く思いました。口頭発表の方でも、様々な新規治療の方法を模索する研究や、デジタルツールを用いて解析を行っている研究等、最先端の情報収集ができ、現在血液内科の間でどのような研究が進められているか等を見ることができ、有意義な学会となりました。

最後に、今回の発表にあたって、ご指導くださった先生方、ご協力いただいた各施設の職員、患者様に感謝申し上げます。そして、ご支援くださった京都大学教育研究振興財団の皆様にもこのような貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございます。